

平成23年度 全体事業計画

事務局長 梅 村 武 仁

1. はじめに

今年度は、10月28日（金）に、第66回北海道国語教育研究大会釧路大会が開催される。大会研究主題「確かで豊かな言語活動を通して生きてはたらく言葉の力を育む国語科授業の創造」のもと、前年度函館大会の研究成果や課題を踏まえた活発な研究討議が行われるように全道各地の実践的な研究を結集していくことが重要であると考えます。

北海道の国語教育を向上・発展させていくためには、会員一人一人が学習指導要領に示された国語の目標や内容等について共通理解を図りながら、それぞれの国語教室で行われている日々の実践を持ち寄って協同研究することが何よりも大切である。本連盟では、全道各地で開催する研究大会を中核に据えつつ、全国各地の研究大会・研修会にも参加・派遣できる体制を整え、活発な研究活動が展開できるよう努めていきたい。新しい学習指導要領、全国の国語教育の動向にしっかりと目を向け、北海道の児童・生徒の国語力の傾向をとらえながら、今後も北海道の児童・生徒に相応しい国語教育のあるべき姿を追い求める研究組織でありたいと考える。

2. 活動の基本方針

- 1) 北海道国語教育研究大会の成功を期し、文科省や道教委、教育関係諸団体との連携を密にするとともに、研究活動の充実に資する情報交流の活性化に努める。
- 2) 講師派遣の要請に積極的に対応するなど、各地区との連携を深めながら、国語教育の振興と充実に努める。
- 3) 新入会員の確保及び会費納入会員の拡充を図るなど組織強化に努める。
- 4) 国語教育に関わる実践資料の収集や国語教育の振興につながる調査活動に努める。
- 5) 国語教育に関わる新鮮な情報の発信に努め、積極的な広報活動に努める。
- 6) その他

3. 本年度の主な事業内容

- 1) 第66回北海道国語教育研究大会釧路大会の開催
- 2) 全道常任委員会・大会会員総会の開催
- 3) 各種研究大会・研修会への参加及び派遣
- 4) 道内の児童・生徒を対象とする語彙量調査の実施
- 5) 夏・冬の学習会の開催（夏は文科省水戸部教科調査官を講師に予定）
- 6) 会報、研究物の発行、及び、ホームページの充実
- 7) 日常の研究実践資料の収集・提供
- 8) その他（協賛企業の募集など）

【全道大会等の開催地】

- 平成21年度（第64回）札幌大会 第38回全国小学校国語教育研究大会北海道大会
平成22年度（第65回）函館大会
平成23年度（第66回）釧路大会
平成24年度（第67回）十勝・帯広大会
平成25年度（第68回）札幌大会 第43回全日本中学校国語教育研究協議会北海道大会
平成26年度（第69回）空知大会
平成27年度（第70回）旭川大会
※平成28年度（第71回）網走大会
※平成29年度（第72回）釧路大会
※平成30年度（第73回）函館大会